

対象クラス	第1学年 ビジネス情報科	単位数	3単位
使用教科書	プログラミング マクロ言語 (実教出版)		
使用副教材	学習と検定 全商情報処理検定テキスト 三訂版 2級 プログラミング部門(実教出版) 全商情報処理検定模擬試験問題集 2級 プログラミング(実教出版)		

「プログラミング」とはこんな科目です。

私たちはマウスやタッチパネル、キーボードなどを通じてコンピュータを操作していますが、内部的にはすべて、プログラムによって処理が実行されています。完璧に処理を実行させるには、データの流れや計算などを筋道立てて考える必要があります。この科目ではプログラムの基本構造を学習するとともに、論理的思考力を養います。

科目の到達目標(目標とする検定等)

- ・処理手順(アルゴリズム)の基礎的な知識(順次構造・選択構造・くりかえし構造)を身に付けます。
- ・マクロ言語やJava言語の学習を通じて、プログラミングの基礎と論理的思考力を身に付けます。
- ・全国商業高等学校協会主催情報処理検定プログラミング部門2級取得を目指します。

評価の観点	割合	評価規準・評価内容	評価の場/
知識・技能(技術)	4	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラムと情報システムの開発について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけようとしているか。 ・ビジネスの諸活動においてプログラミングの必要性や意義を理解しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察、 ・実習提出物、考査、 ・発表、小テスト
思考・判断・表現	3	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラムを表現するために、論理的な思考判断を行い、筋道立てて考えようとしているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察、 ・実習提出物、発表
主体的に学習に取り組む態度	3	<ul style="list-style-type: none"> ・科目に興味をもち企業活動に有用なプログラムと情報システムの開発に、主体的かつ協働的に取り組んでいるか。 ・自らの課題を把握し、自身の学習の調整を試みる姿勢が見られるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察、 ・実習提出物、発表、 ・小テスト

学習計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

	単元名	学習内容	学習活動のねらい
前期中間	第5章ハードウェアとソフトウェア 第1章情報システムとプログラミング 第2章アルゴリズム	<ul style="list-style-type: none"> ・データの表現 ・情報システムの重要性 ・プログラミングの手順 ・基本的なアルゴリズム 	<ul style="list-style-type: none"> ・先に5章を学ぶことで、以降に学ぶプログラミングに関連するコンピュータ関連の用語やデータの表現技法について理解します。 ・マクロ言語を通じて、データ処理に必要な一連のプログラミング手順を身に付けます。
前期期末	第2章 アルゴリズム 【前期期末考査】 全商情報処理検定2級プログラミング部門	<ul style="list-style-type: none"> ・応用的なアルゴリズム ・配列の利用 	<ul style="list-style-type: none"> ・配列を利用した各種プログラミング技法を身に付けるとともに、線形探索や集計処理を通して配列の有用性について考察を深めます。 ・見やすく分かり易いプログラムを作成する意義を理解し、情報処理検定2級合格に向けて学習します。
後期中間	第3章 プログラムと情報システムの開発 【後期中間考査】	<ul style="list-style-type: none"> ・情報システム開発の手法 ・プロジェクト管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・システム開発における開発計画の手順や、開発工程日数の計算方法について学習します。
学年末	第4章 情報システムの開発演習 全商情報処理検定2級プログラミング部門 【学年末考査】 全商情報処理検定2級プログラミング部門	<ul style="list-style-type: none"> ・webページ作成の基礎 ・スタイルシートの活用 ・PHPの活用 ・オブジェクト指向型言語の利用 	<ul style="list-style-type: none"> ・HTMLに関する記述方法について、基礎的な技法を学び、適切な情報の提供と効果的な活用方法を学習します。